

平成22年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小 林 市 教 育 委 員 会

○自己点検・評価の考え方

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の管理・執行について点検及び評価を行うこととなった。

小林市教育委員会が、地域の教育課題に応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これに即して実施した政策について、政策効果をしっかりと把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要である。

小林市教育委員会においては、平成22年度分の自己点検・評価を平成23年度に実施し報告を行う。

なお、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、総合政策課でとりまとめている「事務事業評価」を自己点検・評価として代替するものとする。

○具体的な点検・評価の方法

次の2つの項目に分類した。

シート その1 教育委員会の活動

シート その2 教育委員会が管理・執行する事務

※教育委員会が管理・執行を教育長に委任する業務については、事務事業評価を代替として報告を行うものとする。

○重要度・実現度の考え方

【重要度】

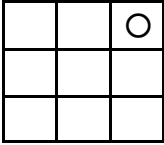
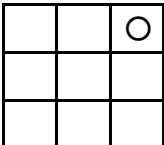
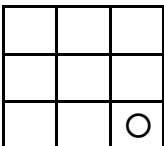
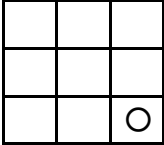
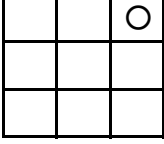
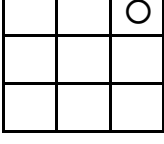
○教育委員会が管理・執行する事務

小林市教育委員会教育長事務委任規則に列記されている教育長に委任されていない事務であり、計画がなかったもの以外は重要であると判断したため、すべて「高」とする。

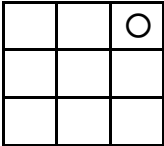
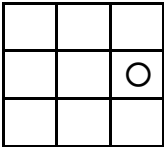
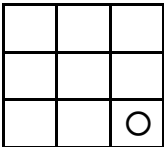
【実現度】

目標に対して、概ね実施できたものは「高」、ほとんどできなかったものは「低」、それ以外を「中」とする。

平成22年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検・評価	
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の 会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	実現度  ↑ → 重要度	年間12回の定例会の計画に対し、実績は、定例会を12回、臨時会を5回開催し、計画どおり実施できた。 事務局報告件数14件、その他の件数15件、上程議案は62件であり、承認件数は62件であった。定例会については月1回計画的に開催し、臨時会については急を要する議案について審議された。 会議では、委員が活発に議論し、適切な意思決定を迅速に行うことができた。
		② 教育委員会会議の運営上の工夫	実現度  ↑ → 重要度	定例会、臨時会を問わず、議案・資料等を3日前までに配付することにより、議案の熟読がなされた上で審議を行なったため、議案に対する理解を深めることができた。 また、議案に関しては各課長が詳細に説明を加え、事業・施策や今後の方向性等についての議論を行った。 さらに、毎回教育長から教育行政の状況について各委員に報告を行い、情報共有に努めた。
	(2) 教育委員会の 会議の公開	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度  ↑ → 重要度	教育委員会会議の開催日は告示しており、ホームページにおいても開催を市民に周知し、傍聴者を毎回数名期待していたが、傍聴者はなかった。今後は、さらに定例会等についても広く市民に周知し、関心度を上げるため開催日、開催時間等の検討をしなければならない。
		② 会議録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度  ↑ → 重要度	会議録は市情報公開条例に基づき公開しているが、情報公開請求はなかった。 今後は教育委員会の活動等について、市広報誌やホームページでの広報・公聴活動を行う必要がある。
	(3) 教育委員会 と事務局との 連携	① 教育委員会と事務局の連携	実現度  ↑ → 重要度	教育委員会会議の3日前までに議案・資料等を事前配付しているため議案に対する理解が深まった。 教育委員会会議には、全部課長、ほか関係職員が出席し、議案・報告案件の説明を詳細にし、質疑においても的確な回答がある。 また、各資料要求についてもその都度事務局から適切な対応がなされ審議の効率化が図られた。
	(4) 教育委員会 と首長の 連携	① 首長との意見交換	実現度  ↑ → 重要度	市長及び副市長との意見交換会を実施し、教育行政の課題等について協議した。また、教育長が市長と常に情報交換を行うとともに、必要に応じその結果の報告を受けている。 教育委員会が地域における教育の担い手としての責任を果たすため、今後も市長及び副市長との連携が重要である。

平成22年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検・評価	
1 教育委員会の活動	(5) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	実現度  ↑ → 重要度	教育委員を対象とした研究会・研修会に全員参加し、教育委員会及び教育委員活動等についての研修を深め、その職務遂行に必要な知識を深め、教育委員としての資質向上に努めた。
	(6) 学校及び教育施設に関すること	① 学校訪問	実現度  ↑ → 重要度	各学校が掲げるテーマに基づき、6月から11月までの間に指導主事等を同行し、10校の小中学校を計画訪問し学校の実態把握を行なった。また、各小中学校の立志式等にも出席し、今後の教育施策の充実につなげるよう努めた。今後は、さらに教育委員の個別訪問等の実施も行い教育現場の実態把握に努める。
		② 所管施設の訪問	実現度  ↑ → 重要度	学校関係施設については、定期的な訪問を行なっているが、社会教育施設や体育施設等については時間的制約があり実施できなかったが、計画的な訪問が必要である。

平成22年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	点検・評価										
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							小林市教育基本方針並びに教育施策、小林市教育推進プランにおいて当該年度の施策や事業を示した。 また、小林市教育推進プランについては、23年度からの5ヶ年計画を協議し、各分野の重点施策等を設定した。
			○									
	(2) 教育委員会規則及び教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							「小林市立学校管理規則」ほか規則7本、要綱4本、規程等5本の制定・改正を行った。
			○									
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案の決定に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							平成22年度当初予算編成方針を説明し、新年度予算原案の決定を行った。このほか補正予算を含め市議会に付すべき議案原案の決定を行った。	
		○										
(4) 小林市立の小学校及び中学校その他の教育機関の設置、移転及び廃止に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度				○						当初計画のとおり、教育機関の設置、移転、廃止はなかった。	
○												
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							平成23年4月の人事異動に際し、南部教育事務所に職員の内申を行った結果、概ねその意向が異動に反映された。	
		○										
(6) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							平成23年4月の人事異動に際し、市長部局（職員課）からの職員の人事交流についての協議に対して承諾を行い、その結果が異動に反映された。	
		○										
(7) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員の任免、委嘱及び解嘱に関する こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> → 重要度			○							学校医ほか各種委員等の委嘱14件を、提案のとおり承認した。	
		○										

平成22年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	点検・評価										
2 教育委員会が管理・執行する事務	(8) 学校の通学区域の設定及び変更に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度							○			当初計画のとおり、通学区域の設定、変更はなかった。
	○											
	(9) 教科用図書採択に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							教科用図書西諸県採択地区採択協議会において選定を行い、教育委員会において小学校用教科用図書の採択を行なった。
			○									
(10) 小林市文化財保護条例（平成18年条例第115号）による文化財の指定および解除に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度							○			当初計画のとおり、文化財の指定、解除はなかった。	
○												
(11) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度							○			請願、陳情、訴訟及び異議の申立てはなかった。	
○												
(12) 教育委員会が管理する公の施設に係る指定管理者の導入並びに指定管理者の選定及び指定に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							小林市立図書館及び小林総合運動公園市営プール、森永貞一郎記念館については、指定管理者による施設管理、運営を行っている。財政効率化を図りつつ住民ニーズに効果的に対応された運営がなされている。	
		○										
(13) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							教育委員会が管理・執行する事務に関する報告を事務局に求め、目標に対しての成果や課題等を委員相互に確認、共有し、適切な点検・評価を行った。	
		○										

総合評価

小林市総合計画及び小林市教育推進プランを基本に、「夢と元気と勇気ある小林教育」の推進のため、教育委員会及び事務局職員、教職員等が一体となり諸々の教育施策に取り組み、各種事業は概ね順調に展開できた。

教育委員会活動及び教育委員会が管理・執行する事務の概要については、シート1及びシート2のとおりである。なお、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する業務については、事務事業評価により報告するものとする。

平成22年度は、野尻町と合併して最初の年度であったが、関係機関と連携して取り組むことができた。また、教育委員会の活動については、教育委員会の会議の公開や所管施設の訪問実施等、引き続き目標達成に向けての改善が必要である。

「点検・評価」を継続的に実施する中で、施策、事業等の振り返りを行い、市民への説明責任を果たし、学校、家庭、地域社会との協働による活動等を重視しながら教育行政の推進に取り組むことが重要である。

知見の活用（同法第27条第2項の規定による）

自己点検・評価シートは、重要度と実現度の2次元マトリックスによる視覚的にも捉えやすく表現した形式が定着してきており、よい。しかし、実現度・重要度の判断は基準を設定するなど、今後の検討が必要である。

また、点検・評価は、根拠や具体的な事例を示すなど、より改善も見られ、概ね適切であると判断する。一方、項目の目標との関係で、説明が不足する部分もあり、評価のさらなる工夫も必要であろう。

なお、「事務事業シート」を見ると事務事業の計画、実施、評価、改善というマネジメントサイクルによる具体的な評価が定着してきており、評価できる。今後とも継続して、小林市の教育基本方針や小林市教育推進プラン等との整合性を十分図りながら、より有効性や効率性の高い事業が展開されることを期待している。

宮崎大学大学院教育学研究科 教授 宇田廣文